

基本的にはアクアサイザー の原型を保ちつつ以下の機能が変更・追加になります。

1 操作パネルがタッチパネル方式になります。

タッチパネル方式により以下のような様々な事が可能となりました。

2 スタートボタン1つだけで自動運転が可能になります。

最高10段階までに分けて、セラピー内容(トレッドミルスピード、ジェットの有無、ターボジェットの有無)の保存が可能です。

セラピー時には保存した内容を読み出し、スタートボタンを押すだけで、自動的に入力した内容をトレースします。先生は患者様の観察に専念できます。

例) スタートより2分間ウォームアップとして時速2キロで走行し、
3分後から12分間時速4キロで、ターボジェットを出し走行します。
その後3分間3キロでターボジェットを止めて走行し、
その後2分間1.5キロでクールダウンし停止となります。(以上4段階の内容の場合)

このことにより、例えば以下のような管理が可能です。

- 個人別にセラピー内容を保存・管理ができます。
- 運動強度別にセラピー内容を保存・管理ができます。
- 症状別にセラピー内容を保存・管理ができます。

登録は40人まで可能です。

トレッドミル走行などについてはもちろん従来よりのマニュアル走行も可能です。

3 温度管理は設定温度を入力するだけで自動で行なわれます。

温度はパネル上で設定温度を入力します。設定温度を保つべく機器が自動的にヒーターの稼働・停止を繰り返します。

4 塩素濃度も自動管理で行われます。

基準濃度範囲内(0.4PPM~1.0PPM)で設定濃度を入力します。機器が塩素濃度を測定し、塩素が不足の場合は設定濃度まで塩素の注入を行います。機器はこのサイクルを繰り返し設定濃度を保ちます。

5 モーターの回転がよりスムーズになります。

回転がより滑らかになり特に低速の動きがよりスムーズになります。

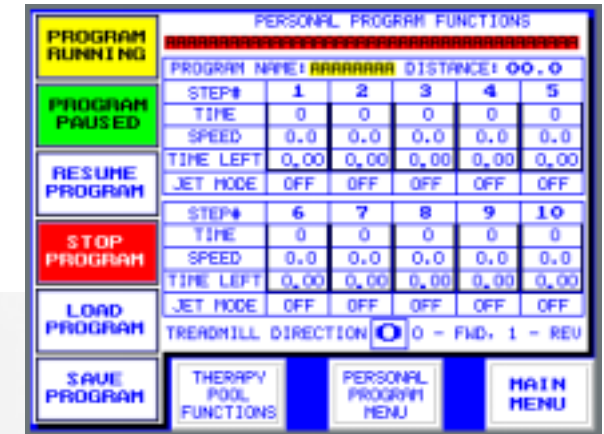
6 機器の不具合状況が画面に表示されます。

仮に機器に何か不具合が出た場合、パネルに表示がなされます。異常がある場合に即座にお知らせすることにより、安全性を保ちます。またその後のメンテナンス上でも簡易的になります。

寸法 縦 2645mm 幅 2640mm 高さ 1657mm (*縦の寸法が150mm程度長くなります)
その他 電源、給湯水 排水口関係は アクアサイザー と同様です。



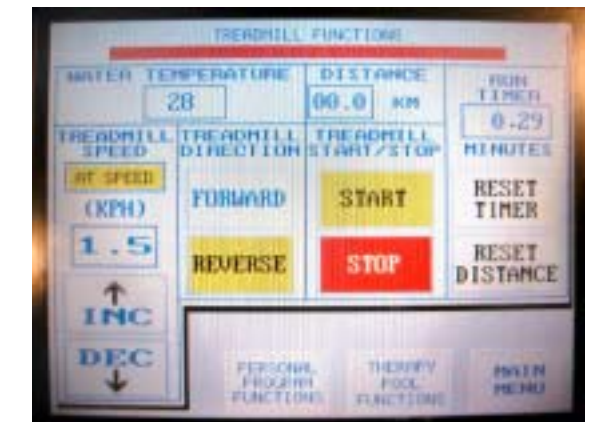
操作はタッチパネル方式です。



自動走行は10段階まで内容の入力、保存が可能です。



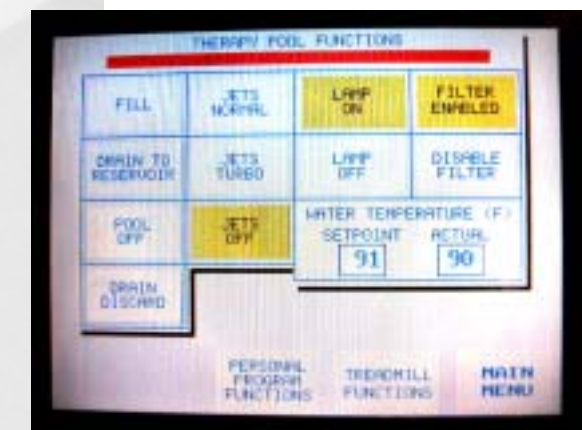
先生は患者の観察に専念できます。(自動走行使用の場合)



マニュアル方式のトレッドミル走行操作画面です。



塩素注入装置(濃度操作及び濃度表示部)です。



水移動、排水、ジェット、プールライト他の機能操作画面です。

アクアサイザー

新型水中トレッドミルのご案内



水中トレッドミル アクアサイザー は、現タイプのアクアサイザー の機能の一部を変更、さらに新機能を搭載した新型の水中トレッドミルです。本資料は、その変更及び新機能をまとめた資料です。



輸入元 ファーノ・ジャパン・インク日本支社
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1 - 9 - 8 第3FKビル3F
TEL03-5820-4649 FAX03-5820-4669